


















**SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト**

カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	作成日：令和3年9月10日		企業・団体名：第一生命保険株式会社 高知支社																						
			基本	チャレンジ		主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
人権・労働	1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	●		「第一生命グループ企業行動原則」を定め、その中の項目として「人権尊重」に取り組むことを宣言している。グループ横断して人権啓発を推進していくために、「グループ人権啓発推進委員会」を設置し、差別を防ぐ意識を醸成する教育が定期的になされ、また、相手を常に思いやる心を持った社員の育成に取り組んでいる。											4.4	5.1 5.2 5.5	8.5 8.7 8.8	10.2 10.3										16.1 16.2 16.7	
	2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	●		上述の教育に加え、立場の違いから相談しづらい状況が生じないよう、匿名相談、環境の改善を求めることのできるスピークアップ制度を導入し、法令や社内・外ルールの違反に関する報告相談や、ハラスメントに関する報告相談が可能な相談窓口が設置されている。												5.1 5.2 5.5	8.5 8.8										16.1		
	3	【ワークライフバランス】 ・男女が共に働きやすく、仕事と家庭の両立の推進などの職場環境づくりに積極的に取り組んでいる	●		ワークライフバランス指標による見える化や、働き方改革の実現に向けた経営層による定期的なメッセージ発信、リモートワークの推進・奨励等を含む取り組み等、多方面からそれぞれの社員にあった働き方を選抜できる制度の導入と利用促進。														8.5 8.8											
	4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別、人権侵害がないことを確認している	●		「第一生命グループ企業行動原則」を定め、その中の項目として「人権尊重」に取り組むことを宣言しており、各国・各地域において、文化および慣習を尊重し、その発展に貢献する経営・人権啓発に積極的に取り組んでいる。												4.4		8.7 8.8	10.2 10.3										
	5	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	●		「ワーク・スマート専門委員会」を設置して健康増進施策を推進、健康保険組合とのコラボヘルス展開や健康増進につながるインセンティブ制度の導入を実施している。また、職場環境の整備に向けた職場巡回を実施している。															8										
	6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるための対策に取り組んでいる	●		健康を通じて幸せな人生・QOLの向上を目指すという「ヘルスプロモーション」の考え方を基本に、「重症化防止」「疾病予防」「メンタルヘルス対策」を柱に取り組みを進めている。													3												
	7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が十分に活躍できる環境の整備や、誰もが利用しやすいサービスの提供などに取り組んでいる	●		社員の誰もが十分に活躍できる、ダイバーシティ&インクルージョンの実現に向け、ファミリーフレンドリー制度の充実と、ワークスタイルの変革に向けた取り組みを二本柱としてワークライフマネジメントを推進し、「プラチナくるみん」企業に認定された。													5.1 5.5		8.5	10.2 10.3									
	8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	●		所属部署に合わせた各種育成に加え、各個人で選択可能な研修、キャリアの形成に関するさまざまな相談に対応する専門スキルを持ったキャリアアドバイザーによる、キャリア支援デスクの常設がされている。													4	5.5		8	9								
	9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	●		公正で、それぞれの社員が納得のできる待遇を目指し、労働組合を設置、双方向性のある対応を促進している。														5.5		8.5	10.2 10.3								
	10	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる	●		社員満足度(ES)の向上調査を実施し、組織・職場風土などにおける課題の抽出や課題解決の立案・実施につなげることでより働きやすい職場づくり・生産性の向上を促進している。															3		8								
	11	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェビナー等を導入している	●		社員の新型コロナウイルス感染症の予防の手立として、テレワーク、ペーパーレス化の推進を行い、2021/7/1~7/31時点において出勤者削減率50%を達成した。(53.7%)														3		8	9.1	11	12						
	12	【デジタル化の推進】 ・労働生産性の向上を図るとともに、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における社会・経済構造の変化に対応するため、デジタル化やオンライン化等を推進している	●		テレワーク、ペーパーレス化、押印レス、Web会議が導入されており、普及・推進が行われている。お客さま手続きのデジタル化とWeb通知を開始する。																8	9.1	11	12						
環境	13	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	●		廃棄物処理法に準拠した適切な産業廃棄物処理を実施している。																11.6	12.4				14.1				
	14	【エネルギー】 ・電気やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	●		第一生命ホールディングスマニュアルレポート・第一生命ホールディングスサステナビリティレポートにて実績値の公開、CO2排出量をスコープ1・2・3それぞれにおいて削減を行っており、一般財団法人日本品質保証機構による第三者認証を受け、実績の信頼性向上についても積極的に取り組んでいる。															7.3						13				
	15	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	●		CO2排出量をスコープ1・2・3それぞれにおいて削減する目標を立て、省エネルギー機器導入等により、事業活動によるエネルギー使用量の削減を推進、ペーパーレス化・テレワークの実施による紙資源の削減、クールビズ・ウォームビズの導入による冷暖房の抑制を徹底している。															7.2 7.3			12.4	13.3						
	16	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	●		所有している多数の不動産において、アスベスト・PCBの有無や土壌汚染等の環境に影響を及ぼす要因の有無を把握、環境リスクを徹底して排除し、コンプライアンスを遵守している。													3.9		6.3			11.6	12.4						
	17	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないよう配慮している	●		環境への取り組みの一つとしてESG投資を積極的に行っており、2019年度には環境省からESGファイナンス・アワード・ジャン機関投資家部門において金賞（環境大臣賞）を受賞した。															6.6								15		
	18	【3Rの推進】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる	●		印刷時資源の裏面活用や廃棄書籍等の資源の再利用を促進、古切手の収集・利用等各事業所において取り組みを進めている。																					12.5			14.1	



カテゴリ	No.	SDGsの観点で、市場・社会から期待される基本的な事項	取組レベル		具体的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
			基本	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																												
社会貢献・地域貢献	37	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し、適切に対応している	●		全国各地で生命保険事業を展開する強みをいかして、各地域との接点を持ち、交流を深めることで、各顧客に必要な社会制度に端を発し各種情報提供を実施。事業の地域における影響を把握し、適切な情報を発信している。					4								9		11	12			14	15		17	
	38	【社会貢献活動】 ・寄付やボランティアなど、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	●		年に一度の清掃活動実施。高知県サッカーチームへの寄付を行いシルバー会員となっている。また、2021年より高知海岸パートナーシップへ参画、海の清掃活動を実施。					4											11				14	15		17
	39	【地域資源の積極的利用】 ・高知県の原材料を優先的に使用し、地産地消・地産外商に努めている	●		「地元サラリーマン川柳」を企画し高知県の良さをアピール、プレゼントとして高知県産品を提供。支社にて地産地消キャンペーンとして、高知県産の特産物をプレゼントする企画も実施している。来客用・会議用として土佐茶を使用。													8	9		11	12						
組織体制	40	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透している	●		コンプライアンスに関する定期的な研修が実施されるとともに、各事業所において毎日各事業所ごとに同様のコンプライアンスマニュアルを読み上げることで常日頃からの意識付けを実施している。																						16	
	41	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している	●		経営理念を共有するとともに、毎営業日に実施する法令遵守に関するスローガンの確認を実施、日頃からの行動に反映し、実践している。													8	9								17	
	42	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している	●		企業活動が与える影響は、その周辺域のみに止まらないことを説明。必要に応じて、出社、広告等によって態勢の整備を実施している。																						16	
	43	【利害関係者との対話】 ・利害関係者（ステークホルダー）※との対話により、自社の活動が利害関係者に及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	●		全国各地でお客さまとの懇親会を定期的・継続的に実施して双方向的な意見交換の場を確保、自社活動を基とする影響を把握・適切な対応につなげている。また、株主・投資家に向けた経営説明会・ミーティングを実施し、情報の展開、対話の機会を確保している。																						16	17
	44	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	●		法令遵守が確実に行われるよう、継続的な教育を実施するとともに、内部通報制度（社内・社外窓口）の設置により、コンプライアンスに関する重要事項を直接通報・相談することができる公益通報者保護法に対応した相談窓口が設置されている。																						16	
	45	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	●		内部監査部門によるコンプライアンス、情報資産のチェック、リスク管理部門による全体リスク管理状況及び健全性の状況チェックが行われている。リスクマネジメントについては統合的リスク管理を含む「保険引受リスク」「資産運用リスク」「流動性リスク」をERM委員会、システムリスク・事務リスクは事務システムリスク委員会にて経営レベルで適切に管理している。																						16	
	46	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき、企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	●		第一生命グループ中期経営計画「CONNECT2020」にてSDGsから当社が貢献できる課題を特定。その解決を目標にQOLの向上への貢献として「保障」「資産形成」「健康増進」「つながり絆」の4つの価値提供を生命保険を通して行っている。本事項は当社事業と関係性が深く、社会課題解決と当社自体の持続的成長の両面に大きく貢献すると考え、積極的に推進している。																						16	
	47	【災害や事故等への備え】 ・地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症などに備え、事業継続計画（BCP）を策定するとともに、その実効性を上げるために訓練や見直しを行うなど、事業継続マネジメント（BCM）にも取り組んでいる	●		お客さまへの情報提供として地震や水害等の自然災害、事故、新型感染症に関する情報を積極的に収集・展開している。提供企業との連携によりハザードマップの普及等にも積極的に取り組んでいる。																	9			11		13	13.1
48	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●																	8	9							17	
持続可能な社会・地方創生	49	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難計画の策定や事前防災対策を進めている	●		定期的な避難訓練等の実施、ヘルメット等の資機材の備蓄を行っている。また、南海トラフ地震等備え、自社内のみならず、各地域への情報提供を行っている。					4												11.5		13.1		16		
	50	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成し、地域消防団の活動に参加したり、地域の防災力向上の取り組みを進めている	●		毎年の避難訓練の実施に加え、AEDの設置と、AED研修の実施。年に2回以上のEMC安否登録訓練の実施。	1.5		3	4												10.2	11.5		13.1		16	17	
	51	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている	●		社会貢献活動の一環として、訪問企業に向けた県発行の情報の普及・展開をはじめとするSDGs関連情報の提供を実施している。また、社内でのSDGsに関する教育の実施、資格取得の推進により、SDGsへの意識浸透を進めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	52	【産業人材の確保】 ・企業の成長戦略の実現に向け、UITターン就職の促進や若者の県内就職の促進などに関する取り組み、就職氷河期世代の就職支援に関する取り組みを実施している	●		各地域の地元学生の採用を積極的に行っている。各種就職活動セミナーを実施し、優秀人材の確保に積極的に取り組んでいる。新卒採用に向けたインターンの実施、複数企業による大規模な企業説明会等にも積極的に参加し、人材確保に率先して取り組んでいる。					4.4										8.5	8.6					17		
53	【中山間地域を意識した取組】 ・中山間地域の振興に寄与する取り組みを実施している	●																			8	9		11				